

1 令和7年度 学校運営ビジョン（改訂版）R7.5

- 憲法、教育関係法規 ○ 宮崎県教育基本方針 ○ 宮崎県人権教育基本方針 ○ 日南市教育基本方針
- ◎ 学校・地域の実態 ◎ 保護者・教師の願い ◎ 社会の要請 ◎ 教育改革の潮流

学校の教育目標 心豊かで高い志をもち、自立する生徒の育成 「感謝」「自立」「挑戦」

めざす学校像

- 様々な価値観を認め、思いやりの心があふれる学校
- 活気や情熱があふれる学校
- 地域に愛される学校

めざす生徒像

- 日南市中学生憲章
- 誠 自他に誠実である
- 尊 個性・多様性を尊ぶ
- 夢 夢を抱き学び続ける
- 挑 失敗を恐れず挑戦する
- 律 社会性があり自律する

めざす教師像

- 教育愛と子どもに寄り添う教師
- 自己研鑽し向上心のある教師
- 心身ともに健康で信頼される教師

学校経営ビジョンの中心となる考え方

『三つの幸』から未来を創り出す日南教育の推進を通して、本校の教育目標である「心豊かで高い志をもち、自立する生徒の育成」を目指し、学校・保護者・地域が一体となり、細田地区の素材と少人数という強みを生かし、個に応じた適切な支援をとおして、生徒が視野を広げ、努力する意味を感じながら得意を増やし、自分の未来を期待できる教育を推進する。また、教職員一人一人が自分の働き方を見直すとともに、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を実現し健康で成長の場面とやりがいをもって能力を発揮できる環境を整備する。

教師と生徒の合い言葉 『未来を生き抜く力を、今、細田で身に付けよう』

令和7年度キーワード ~得意を増やし、未来につなぐ~

生徒に問い合わせること

何のために学ぶか。
何ができるようになりたいか。
何ができるようになればよいか。
何ができるか、何が得意か。



教師が求め続けること

どうすれば学びたくなるか。
どうすればできるようになるか。
何を与え、何を考えさせるか。
どうすれば得意を見つけられるか。

学校経営で共有したい思い

『私たち一人一人がパズルのピース 全員で作品を創り上げる』

『地域の力と少人数の強み、生徒や先生の得意を生かし、

互いを大切にできる生徒・保護者・教職員でありたい』

- ・ 生徒が「ここで学んでよかった」
- ・ 保護者が「ここで学ばせてよかった」
- ・ 職員が「ここに勤務してよかった」
- ・ 地域が「ここに学校があってよかった」

『細田中は細田地区にありき、細田地区に細田中ありき』

【得意を見つける・できるを増やす・視野を広げる】

職員室も教室も徹底的に「個」

学校と家庭・地域の真ん中に生徒を！今と未来の真ん中に生徒を！

認め愛 支え愛 効まし愛

令和7年度キーワードを念頭に取り組むこと

豊かな心の醸成

- 地域、日本、世界など広い視野をもち、新たな価値観を捉えて、挑戦に誇り、未届ける教育
- 地域に向けた挨拶運動や地域の人材活用など外部との関わりから学ぶ場の設定
- 学校図書司書との連携による心を育てる読書活動の充実

学力の向上

- 学ぶ意義や方法を含め、得意を増やす指導の充実による基礎基本の定着
- ユニバーサルデザイン、ICT活用の視点を取り入れた「ひなたの学び」の授業実践
- 特別支援教育の視点を取り入れた家庭学習や学びの場の提供、組織的な学びの見届け、学びの確認の時間の充実
- 新聞や読み物資料等を活用し、深く考える教育活動の推進

信頼される 学校づくり

- いじめ・不登校・問題行動の未然防止と早期発見のための継づくりと居場所づくり及び問題行動への組織的対応
- 学校運営協議会の運営による地域の中にある学校づくり
- OHPや学校だより等による情報発信
- 細田地区小学校との連携

健康・安全教育 の推進

- 体力向上プランに基づいた体力、運動能力の向上
- 日南市レインボープランを基にしたいのちの教育(SOSの出し方教育)等、新たな教育課題に対する自己管理能力の育成及び保健教育の推進
- 各種避難訓練等や校内安全点検等による危機管理の徹底

- 教職員の働き方改革への意識付け、生成AIの効果的な活用
- 研修の参加や挑戦によるやりがいと成長があり、心理的安全性が保たれている職員室
- 働き方改革の視点を踏まえた生徒、職員、地域、外部人材との連携
- 適切な業務分担と校時程の工夫等による教職員の時間外業務時間の縮減

2 日南市中学生憲章との関わり 本校の生徒会テーマは「夢」

誠（まこと） 「誠の心」を忘れず、自分にも他人にも誠実な中学生になります。

誠

小村寿太郎侯の「正直であれ」という言葉にあるように、自分にも他人にも正義を貫き、一途な生き方を大切にする中学生を目指すことを表しています。

尊（とうとぶ） 感性や個性の違いを尊重し、多様性を認め合える中学生になります。

尊

これからの時代は、SDGsを視野に入れたダイバーシティとインクルージョンを推進し、助け合いながら生活していくことが大切になります。多感な時期だからこそ、相手を思いやり、仲間のことを考え、行動に移せる中学生を目指すことを表しています。

夢（ゆめ） 未来に夢や希望を抱き、学び続ける中学生になります。

夢

夢を叶えるためには、先を見通して計画を立て、それに向けて努力し、学び続けることが大切です。「4つの学ぶ力（他者から学ぶ力、自ら学ぶ力、自然から学ぶ力、社会から学ぶ力）」を育むことを通して、社会的・職業的自立を目指すことを表しています。

挑（いどむ） 失敗をおそれず、何事にも粘り強く挑戦する中学生になります。

挑

これからの時代は、先が見えず予測困難な社会です。失敗し壁にぶつかることがあっても、その失敗を糧として何度もチャレンジすることで、創造性を育み、自らの生涯を生き抜く力を身に付けた中学生を目指すことを表しています。

律（りっする） 社会性を身に付け、自律した中学生になります。

律

私たちは、将来を担う日南市民としての自覚をもち、責任ある行動が求められます。そこで、自分の行動を振り返りながら、ルール・マナー・モラルについて自ら考え、判断し実行する中学生を目指すことを表しています。